

【概要】

- 昨日（1月21日）午後6時30分頃、1号機原子炉格納容器（以下「PCV」）の圧力が低下していることを、当社社員が確認しました。
- 1号機においては、PCV内部調査に向けたアクセスルート構築作業に向けたPCV内干渉物調査の事前準備として、昨日（1月21日）午後5時20分頃から午後6時10分頃まで、カメラ装置の挿入に用いるカメラチャンバ（以下「当該管」）取付作業等を実施しておりましたが、その後午後6時30分頃、PCV圧力低下していることを確認したことから、当該管を午後9時20分頃に取り外し、設備の状態を当該管取付作業前の状態に戻したところ、低下していたPCV圧力が上昇したことを確認しました。
- その後、本日（1月22日）午前3時頃、PCV圧力が当該管取付作業前の水準まで回復（上昇）したことを確認しました。
- これらのことから、PCV圧力が低下した原因は、当該管取付作業に起因し発生したものと推定しておりますが、引き続き、漏えい箇所や原因について調査を進めるとともに、再発防止対策を検討してまいります。
- なお、作業エリアのダストモニタ、プラントパラメータ、モニタリングポスト、敷地境界ダストモニタ、構内連続ダストモニタの値に有意な変動が無いことを確認しています。

【参考】時系列、現場イメージ図

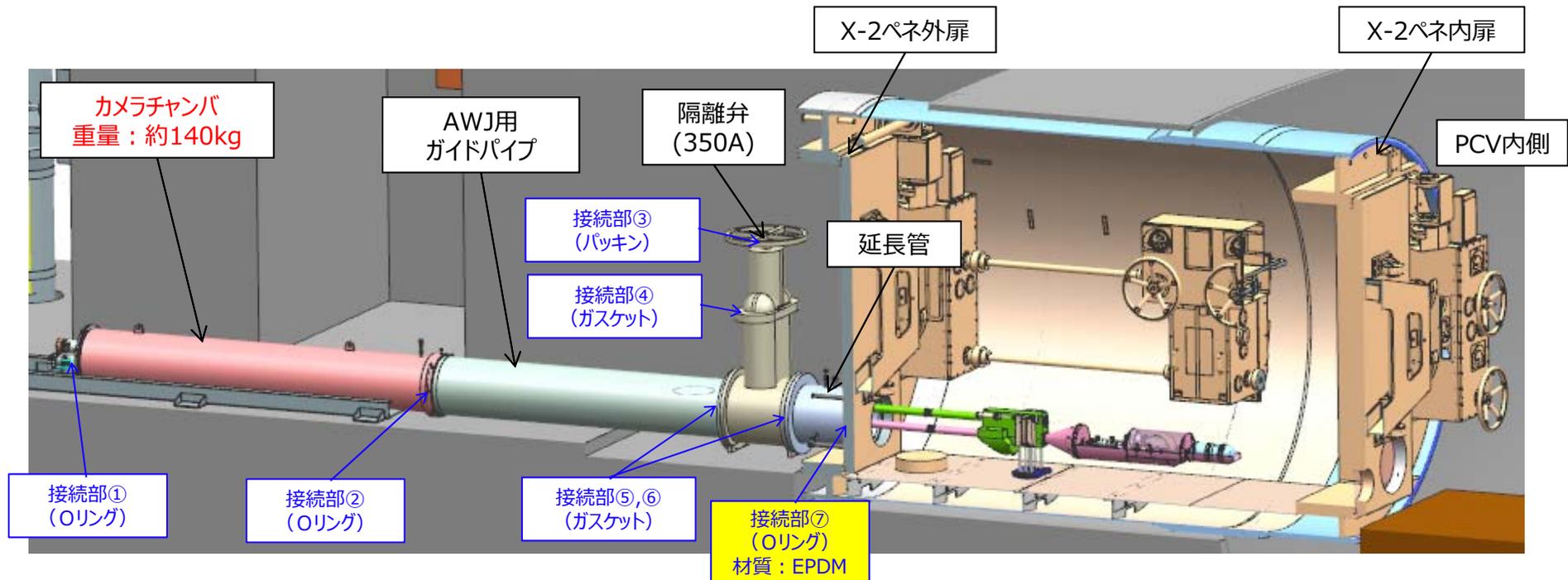
<時系列>

1月21日

- 午後4時40分頃 作業開始
- 午後5時20分頃 カメラチャンバ取付開始
- 午後6時10分頃 カメラチャンバ取付終了
- 午後6時30分頃 PCV圧力の低下傾向を当社社員が確認
- 午後8時50分頃 隔離弁のシートパス有無確認を開始
- 午後8時57分頃 隔離弁のシートパスが無いことを確認
- 午後9時06分頃 カメラチャンバ取外開始
- 午後9時20分頃 カメラチャンバ取外完了
- 午後9時23分頃 PCV圧力の上昇傾向を確認

1月22日

- 午前3時頃 PCV圧力が作業開始前の水準に回復(上昇)



現場イメージ

【参考】PCV圧カトレンド

